

姫路市議会
6月定例会
6月3日～6月20日開催

後期高齢者
医療制度

長寿を喜ぶのか、中止撤回を国に求めよ

「官製ワーキングプア」をなくし、若い職員の将来に夢と希望を



日本共産党
姫路市議会議員団

代 和 大 脇 和 代
み ゆ み
子 けい
郎 じろう
入 江 次 郎

(連 絡 先)
市 議 会 控 室
姫 路 市 安 田 4-1
TEL 221-2046
FAX 284-5890

日本共産党
姫路市議団
ホームページ
<http://www.jcp-himeji.com>



谷川まゆみ議員 一般質問

「後期高齢者医療制度」は中止を
偽装ラブホテル根絶のための条例制定を

谷川まゆみ議員は、6月10日に開催された本会議で一般質問にたちました。後期高齢者医療制度で長寿を喜ぶのか

月1日の制度スタート時にわざわざ「長寿医療制度」と通称を発表したり、2ヶ月余りで「見直し」を言わざるを得ないこと自体、制度の破綻を示しています。高齢者に年金からの天引きなど耐え難い負担を押し付け、「定額制」の導入など必要な医療を抑制して、命と健康を脅かす医療制度は、中止・撤回しかありません。今こそ国に強く求めていくべきではありませんか。学力テストや「魅力ある姫



犬山市への視察。左から、谷川まゆみ・大脇和代・入江次郎・森ゆき子の各市議

路の教育創造プログラム」で真の学力は身につくのか
本市では、国の「教育改革」路線に沿った形で、教育改革を行なおうとしているが、学校や教員の自主性を保障し、少人数学級などの条件整備をしていくかたちで、確かな学力をつけていくべきではないでしょうか。
小学校の適正規模化は、地域住民・保護者・現場の「声」を尊重すべきと考えます。

【教育長答弁】

適正規模化については、保護者・地域のみならず十分に協議し、概ね理解が得られれば、実施する方針。障害者自立支援法で、障害者は地域で自立して暮らせるのか

重度訪問介護の支給量の上限302時間は、「地域で自立した日常生活」を保障したものになっていません。事態に即して訪問介護の上限枠の見直しを行うべきです。

【環境問題】

ク・環境アクション
「ノーマイカーデー」の実施は、大いに評価します。地球温暖化や公共交通の利便促進のためにも、順次増やしていくお考えはありますか。

市民の安全安心を守るため、また国際観光都市として



入江次郎議員 一般質問

遊休農地を生かした農業振興施策を
高すぎる議員報酬の引き下げを

入江次郎議員は6月10日、一般質問にたちました。臨時職員が正規職員の代替になつていないか

厳密にいうと、議員指摘の通り臨時的、一時的業務ではない。

【入江2・3問】

非正規の臨時職員の時間給は714円、専門的な知識を有する幼稚園教員でも年収200万円以下など大変劣悪な労働条件のもとに置かれています。

一時的業務でなければ今後臨時職員を配置できない。また、現在恒常的な業務で働く臨時職員については、正規職員への道を開くべきでは。

【総務局長答弁】

地方公務員法では1年を超えて継続的に存在する業務については臨時的業務ではなく恒常的な業務となり、臨時職員を配置することは禁じられます。答弁を求めます。

今後、計画的に正規職員を配置していきたい。

社会情勢に応じた議員報酬に引き下げを

【総務局、教育委員会、健康福祉局長・都市局長答弁】

日本共産党議員団は「議員報酬が高すぎる」という

で品格あるまちづくりを推進するためにも、旅館業法基準条例等の見直しや規制のための独自条例を制定し、「偽装ラブホテル」の根絶を目指すべきと考えます。

【健康福祉局長・都市局長答弁】

県警と庁内関係課との連絡調整会議を開催し、指導強化していきたい。独自条例の制定を視野に入れ、関係機関との連携を深めつつ検討したい。

める事を比較できる数字だと思えます。食の安全、地域農家の担い手、地域特産物経営への援助など地元農家応援の施策をもとめま

播磨臨海道路は今後も必要な道路として位置付けられるのか

急速な少子化などを主な要因に、これまでの道路需要推計が過大であったことなどが明らかになりました。最新の道路需要推計では2030年から2050年にかけて2割近い交通量の減少が予測されています。総延長50kmの高規格道路が、計画、着工、そして全線が開通するには10年や20年先でないことは明らかです。播磨臨海道路が全線開通する遠い将来には、市長が言う、費用対効果に見合う道路にはなり得ないと考えます。播磨臨海道路は今後も必要な道路として位置付けられるのでしょうか？

総合交通計画 コミュニティバスの検討を 高すぎる国保料は引き下げを



姫路医療センターで医師不足問題について懇談する（左から）大脇市議、瀬戸恵子党県常任委員、堀内照文党県政委員、森市議。



大脇和代議員 建設環境委員会

耐震強度検査の強化を コミュニティバスの検討を

6月12日の建設環境委員会で大脇和代議員は多数の問題点を指摘し、改善を求めました。当局からは、改善や必要性を認める答弁がありました。

旅業法に違反しているホテル等が市内に52ヶ所あることが判明、「偽装ラプホテル」根絶のため早急に、市民参加で条例作りを早急に始めていくことを求めました。

東部処理場第1期整備の電気設備請負契約議案について、請負業者三菱電機の談合疑惑があり、真相究明が先と継続審議を求めました。

網干新美化センターにおいてパイオマス活用の取り組みを研究すべきです。新日鉄のばいじんについて、新日鉄に根本的対策を強く求めるべきです。

耐震強度不足が発覚したアカシカ建設の分譲マンションについて、国交省のサンプル調査2件中1件で強度不足があったことを重く受け止め、市として検査の強化と、住民が納得できるような説明会の開催を求めました。

バス路線縮小は、公共交通推進をうたう総合交通計画と矛盾します。今後はコミュニティバスについて地域自治会等の単位で議論が必要だと考えます。

下水道局について

日本共産党県会・市会
来年度(09年)予算要望懇談会
8月22日(金)午後7時 自治福祉会館 第4会議室(5階)

5月15日・6月11日の厚生委員会でも森ゆき子議員は以下の質問を行い要望しました。
国保料値上げの原因は
姫路市の国民健康保険算定料とその料率算定が報告されました。
「後期高齢者医療制度」導入に伴い、これまで老人保健に拠出されていた分が「支援分」として移行しました。後期高齢者支援に便乗した保険料値上げでないのか質問しました。



森ゆき子議員 厚生委員会

後期高齢者に十分な医療を

「後期高齢者医療制度」は廃止を
高齢者が重篤な状態まで診察を抑制したり、国保での支援による世代間の分業が生じるのは問題であり、市民の間で不満や反対が広がっている。「後期高齢者医療制度」は廃止しかないと訴えました。

今議会に日本共産党は「後期高齢者医療制度の廃止」案を提出しました。森議員は廃止を主張しました。市議団は引き続き廃止を求めて奮闘していきます。

「後期高齢者医療制度」は「後期高齢者医療制度」には問題があり、安心して医療を充分受けられるよう抜本的な見直しが必要である」とまとめました。
市議団は引き続き廃止を求めて奮闘していきます。



新美化センター農園の土壌調査は必要ではありませんか。

「答弁」開始前に調査・検査を行いたい。
来年4月より実施を計画

50周年記念の国民平和大行進に参加。
右から、入江・森・谷川・大脇の各市議と杉本県議。
政令市については基本的要件上の課題があり、委員会は今年で終了となりました。
1年間、委員会の中で、政令市をめざす議論の前に今回の合併の検証と四町に残された課題の解決を早急に進めることが先決ではないかと求め続けました。
政令市については基本的要件上の課題があり、委員会は今年で終了となりました。

姫路の教育を考えるつどい
主催：日本共産党県・市会議員団
8月30日(土) 午後2時～4時 姫路市民会館中ホール (3階)
姫路市が進めようとしている小中一貫教育はどの子ども大切にしたいという親の願いにこたえられるものでしょうか。
現状を詳しくお知らせし、共に考えたいと思います。お気軽にご参加ください。